

町政70周年記念

「甲佐町郷土かるた」が完成

みんなで遊ぼう!



「甲佐町郷土かるた」

町教育委員会では、甲佐町町政70周年を記念し、町の豊かな歴史や文化、自然、そして未来への希望を次世代へ伝えることを目的に、「甲佐町郷土かるた」を制作しました。

甲佐町には、長い歴史の中で育まれてきた伝統行事や文化財、美しい自然景観など、多くの地域資源があります。

これら一つひとつは、先人たちから受け継がれてきた町の大切な宝物です。制作にあたっては、地域の皆さまとの連携を大切にし、まず各行政区からそれぞれの地域で大切にされている「地域のお宝」を題材として出してくださいました。

そのお宝などを題材に、町内外の皆さまから読み句を広く募集し、応募作品の中から、甲佐町への愛着や誇りが感じられる句を選定しました。

こうして完成した「甲佐町郷土かるた」には、町内各地域の特色と、地域の皆さまの思いが込められています。

このかるたが人と人との交流を深めるきっかけになるとともに、遊びながら甲佐町の魅力に触れていただき、ふるさとへの愛着を育む一助となれば幸いです。

このかるたは、下記の団体に無料で配布し、町内における教育、地域活動、福祉活動、世代間交流等で活用していただきます。また、一般販売も行います。

無料配布先

町内の各行政区、保育園(所)、小・中学校、福祉施設、老人クラブ、読み句応募者など

一般販売

1セット 1,000円

販売方法

町社会教育課窓口での販売および郵送販売

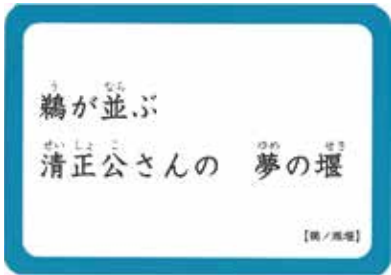
※郵送の場合は、電話またはメールによる事前申し込みで、送料は購入者が負担

購入・お問い合わせ

町社会教育課 ☎096-234-2447 ✉shakai01@kosa.kumamoto.jp

甲佐町のことが
楽しく学べるね!

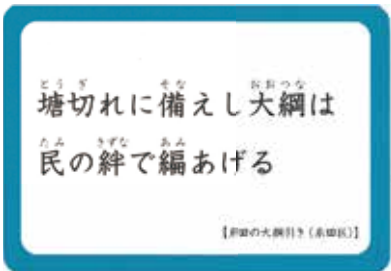




北川 須美子さん
[上早川二区]

この鶺鴒ノ瀬堰の読み区は、肥後狂句の会の活動の一環で、町内の小学校を訪れ甲佐町の民話を子どもたちに読み聞かせていたときを思い出して考えたものです。民話では、堰を作る際に清正公が「鶺鴒の鳥がきれいに水の上に並んでいたとおりに堰をつくらせた」とあり、そのお話がとても印象に残っています。

また、肥後狂句のように読んでみて調子がいい音になるように考えています。ぜひ、学校などで子どもたちに使ってもらって甲佐町にはこんな場所があるんだということを知ってもらったり、老人クラブなどでかたるたを楽しみながら甲佐に残る素晴らしい場所を懐かしんでもらったりしてほしいです。



北里 義友さん
[津志田区]

「糸田の大綱引き」は、地域住民が集まり大綱を引き合い勝敗を決める350年ほどの歴史がある伝統行事です。住民みんなで編み上げた約50センチほどの大綱を引く様子はとても壮観で、地域住民の皆さんが集まり大綱を協力して編み上げる作業や綱引きのあとに見せる地域の皆さんの笑顔とともに後世に残していきたい大切な行事だと感じ、読み区にも「民の絆」という言葉を入れました。

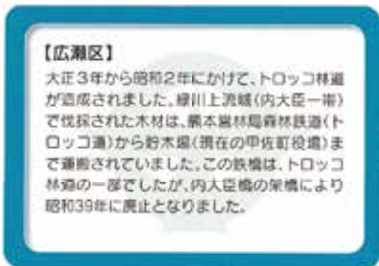
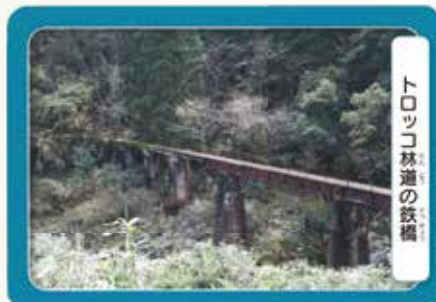
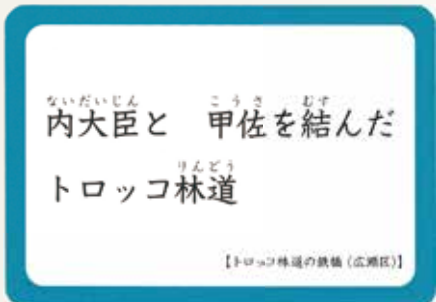
このかるたには、後世に残したい魅力ある甲佐町の史跡や文化、人々の営みなどたくさん詰まっています。ぜひ多くの皆さんに手に取ってもらい、甲佐の魅力を知ってほしいです。

読み札

絵札

絵札の裏面には、お題に関する説明・紹介が書かれています。遊び終わった後には、ぜひゆっくりとお読みください。

(裏面)



この郷土かるたは、読み句からお題を連想し、対応する絵札を探して取る遊びです。読み札には地域資源を思い浮かべるためのヒントが込められ、絵札にはその写真とお題名が載っています。一般的ないろはかるたとは少し違い、遊びながら甲佐町の地域資源に親しめる内容になっています。